

動物実験に関する自己点検・評価報告書
(平成 20 年度)

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
(岡崎 3 機関動物実験委員会)

平成 21 年 12 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 自然科学研究機構動物実験規程（平成 19 年 2 月 23 日自機規程第 68 号） 平成 19 年 3 月 1 日施行 自然科学研究機構岡崎 3 機関動物実験委員会等規則（平成 20 年 5 月 16 日岡共規則第 3 号） 平成 20 年 5 月 16 日施行
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程及び動物実験委員会等規則が適正に定められ、運用されている。
4) 改善の方針 該当せず

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 自然科学研究機構動物実験規程（平成 19 年 2 月 23 日自機規程第 68 号） 平成 19 年 3 月 1 日施行 自然科学研究機構岡崎 3 機関動物実験委員会等規則（平成 20 年 5 月 16 日岡共規則第 3 号） 平成 20 年 5 月 16 日施行
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 自然科学研究機構で動物実験を行っている岡崎 3 機関（生理学研究所、基礎生物学研究所、分子科学研究所）からなる動物実験委員会が設置され、適正に運営されている。
4) 改善の方針 該当せず

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>自然科学研究機構動物実験規程（平成19年2月23日自機規程第68号） 平成19年3月1日施行</p> <p>自然科学研究機構岡崎3機関動物実験委員会等規則（平成20年5月16日岡共規則第3号） 平成20年5月16日施行</p> <p>動物実験計画書（新規・継続・変更）（様式第1号） 動物実験結果（中止・終了）報告書（様式第2号） 動物実験飼養保管施設設置承認申請書（様式第3号） 動物実験実験室設置承認申請書（様式第4号） 動物実験施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届（様式第5号） 動物実験（飼養保管施設・実験室）変更届</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>自然科学研究機構の動物実験規程及び岡崎3機関動物実験委員会等規則並びに様式類が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当せず</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>自然科学研究機構動物実験規程（平成19年2月23日自機規程第68号） 平成19年3月1日施行</p> <p>自然科学研究機構生理学研究所組換えDNA実験安全管理規則 （平成17年11月22日生研規則第4号、最終改正 平成20年7月4日）</p> <p>自然科学研究機構基礎生物学研究所組換えDNA実験安全管理規則 （平成18年8月1日基研規則第4号、最終改正 平成20年7月4日）</p> <p>自然科学研究機構岡崎共通研究施設アイソトープ実験センター 明大寺地区実験施設放射線障害予防規則</p>

<p>(平成 16 年 4 月 1 日岡共規則第 4 号、最終改正 平成 17 年 12 月 1 日)</p> <p>自然科学研究機構岡崎共通研究施設アイソトープ実験センター 山手地区実験施設放射線障害予防規則</p> <p>(平成 16 年 4 月 1 日岡共規則第 4 号、最終改正 平成 17 年 12 月 1 日)</p> <p>自然科学研究機構生理学研究所毒物及び劇物等管理規則 (平成16年4月1日生研規則第21号)</p> <p>自然科学研究機構基礎生物学研究所毒物及び劇物等管理規則 (平成16年4月1日基研規則第21号)</p> <p>自然科学研究機構分子科学研究所毒物及び劇物等管理規則 (平成16年4月1日分研規則第29号)</p> <p>自然科学研究機構安全衛生管理規程 (平成 16 年 4 月 1 日自機規程第 22 号)</p> <p>自然科学研究機構岡崎 3 機関安全衛生委員会規則 (平成 16 年 4 月 1 日岡共規則第 26 号)</p> <p>自然科学研究機構生理学研究所安全衛生管理規則 (平成 16 年 4 月 1 日生研規則第 15 号)</p> <p>自然科学研究機構基礎生物学研究所安全衛生管理規則 (平成 16 年 4 月 1 日基研規則第 13 号)</p> <p>自然科学研究機構分子科学研究所安全衛生管理規則 (平成 16 年 4 月 1 日分研規則第 21 号 最終改正 平成 19 年 3 月 30 日)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>自然科学研究機構の動物実験規程、生理学研究所及び基礎生物学研究所の組換え DNA 実験安全管理規則、岡崎共通研究施設アイソトープ実験センター放射線障害予防規則並びに毒物及び劇物等管理規則が適正に定められ運用されている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当なし</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>自然科学研究機構動物実験規程 (平成 19 年 2 月 23 日自機規程第 68 号)</p>

<p>平成 19 年 3 月 1 日施行</p> <p>動物実験飼養保管施設設置承認申請書（様式第 3 号）</p> <p>動物実験施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届（様式第 5 号）</p> <p>動物実験（飼養保管施設・実験室）変更届</p> <p>飼養保管施設承認リスト</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>自然科学研究機構の動物実験規程が定められ、適正に運用されている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当なし</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>魚類・両生類を使用した動物実験もほ乳類・鳥類・爬虫類使用実験と同様、動物実験計画書を提出する義務がある。また、飼養保管施設についても機関長の責任体制をとっている。</p>
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>岡崎 3 機関動物実験委員会の開催と議題（別紙 1）</p> <p>（平成 19 年 3 月 23 日、平成 19 年 7 月 11 日、平成 20 年 1 月 30 日、平成 20 年 3 月 12 日）</p> <p>動物実験計画書の審査のまとめ（別紙 2）</p> <p>教育訓練のための講習会開催（別紙 2）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>自然科学研究機構動物実験規程（平成 19 年 2 月 23 日自機規程第 68 号）</p> <p>平成 19 年 3 月 1 日施行 及び</p> <p>自然科学研究機構岡崎 3 機関動物実験委員会等規則（平成 20 年 5 月 16 日岡共規則第 3 号）</p> <p>平成 20 年 5 月 16 日施行 に基づき、適正な機能を果たしている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当せず</p>

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書承認リスト 動物実験計画書 (様式第 1 号) 動物実験結果 (中止・終了) 報告書 (様式第 2 号)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験計画書の立案、審査、承認並びに結果報告が適正に行われている。
4) 改善の方針 該当せず

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 安全衛生委員会報告 (平成 20 年度) 動物実験計画書リスト
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当せず

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 各飼養保管施設マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各飼養保管施設は飼養保管手順書（マニュアル）を作成し、施設に掲示のうえ飼養保管にあたっている。
4) 改善の方針 該当せず

5. 施設等の維持管理の状況

（機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？）

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験飼養保管施設設置承認申請書（様式第3号） 動物実験実験室設置承認申請書（様式第4号）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 適正に維持管理が行われてきているが、経年変化や劣化に伴って改修・更新等の必要な施設や設備も生じることが予想されるので、今後、全施設対象に調査を行ったうえ改善計画を立てる必要がある。
4) 改善の方針 動物実験センターでは、年度別改善計画（マスタープラン）を立案したうえ、予算措置を要望中である。

6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 教育訓練講習会実施ファイル（20年度4回開催 計143名の受講者）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当せず

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験等に関する自己点検・評価（平成 19 年度） ・動物実験等に関する自己点検・評価（平成 20 年度：本報告書）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 19 年度はすでに情報公開済み。20 年度も引き続き情報公開を予定している。
4) 改善の方針 該当せず

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

1) 自然科学研究機構岡崎 3 機関による動物実験委員会等規則 (平成 20 年 5 月 16 日岡共規則第 3 号) 平成 20 年 5 月 16 日施行 動物実験委員会の構成 第 3 条第 1 項に掲げる委員 1 名 第 3 条第 2 項に掲げる委員 1 名 第 3 条第 3 項に掲げる委員 1 名 第 3 条第 4 項に掲げる委員 各 2 名 (6 名) 第 3 条第 5 項に掲げる委員 各 1 名 (3 名) 第 3 条第 6 項に掲げる委員 若干名
2) 動物実験委員会の開催 (開催日、議題等) (別紙 1 のとおり)
3) 岡崎 3 機関における動物実験の実施における自己点検・評価に関する報告書の集計について (別紙 2 のとおり)
4) 計画書の審査について 本機構では、哺乳類・鳥類・爬虫類の他に、魚類、両生類使用実験も計画書提出を義務化しており、委員会による審査と機構長の承認システム方式をとっている。

5) 動物種ごとの使用動物数について
(別紙3のとおり)

別紙 1

平成 20 年度 岡崎 3 機関動物実験委員会開催日と議題

第 5 回

平成 20 年 8 月 28 日 (木)

事務センター棟 3F 第 1 会議室

13:30～

1. 魚類・両生類の取り扱いについて
2. 動物実験コーディネータ等の業務について
3. 様式第二号「動物実験結果（中止・終了）報告書」について
4. 動物実験施設の基準について
5. 実験動物の授受について
6. クリーニングの現状報告（明大寺）
7. 飼育施設のモニタリングについて（明大寺・山手）
8. その他

第 6 回

平成 21 年 1 月 19 日 (月)

事務センター棟 3F 第 2 会議室

13:30～

1. 21 年度動物実験計画書等の審査申請について
2. 様式の改正について
3. 情報公開について
4. 19 年度自己点検・評価及び今後の検証について
5. 魚類・両生類の取り扱いについて（報告）
6. 教育訓練開催予定について（報告）
7. その他

第 7 回

平成 21 年 3 月 5 日 (水)

事務センター棟 3F 第 1 会議室

13:30～

1. パンフレットについて
2. 動物実験規程の改正について
3. 動物実験計画等の審査について

4. 生理学研究所行動様式解析室の実験動物の取り扱いについて
5. その他

別紙2

動物実験の実施における自己点検・評価に関する報告書集計表(平成20年度)						
部局名	動物実験計画書の審査のまとめ			教育訓練 受講者数*	飼養保管施設 の設置状況	実験室 の設置状況
	承認件数	修正及び再 提出後承 認数	不承認・ 取下げ件 数			
生理学研究所	187	50	0	96	92	98
基礎生物学研究所	65	16	0	47	18	37
分子科学研究所	1	0	0	0	0	2
統合事務センター	0	0	0	0	0	0
合計	253	66	0	143人	110	137

*20年度の教育訓練講習会は計4回開催された(内訳:平成20年11月7日、11月21日、平成21年2月3日、2月13日)。

別紙3 (哺乳類、鳥類、爬虫類)

動物種別使用数(平成20年度)

動物種名	動物実験センター	基礎生物学研究所 (形質転換生物研究施設)	合計
マウス	14,142	36,856	50,998
ハムスター	0	0	0
ラット	2,056	0	2,056
モルモット	0	0	0
ウサギ	1	0	1
イヌ	0	0	0
ネコ	0	0	0
サル類*	15	0	15
トリ類	0	0	0
爬虫類	0	0	0
総合計	16,214	36,856	53,070

* ニホンザル 7、アカゲザル 5、マーモセット 3